

# 西目屋村経営戦略【概要版】

## 第1章 事業概要

### 1.1 経営戦略の背景

各地方公共団体は、経営環境が厳しさを増す中であっても、事業、サービスの提供を安定的に継続できるよう、中長期的な視点に立った経営を行い、徹底した効率化、経営健全化に取り組むことが必要となります。そのためには、公営企業の中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を企業ごとに策定し、それに基づく計画的かつ合理的な経営を行うことにより、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を実現していくことが強く求められます。

### 1.2 経営戦略の目的

西目屋村農業集落排水事業の経営の更なる健全化のため、必要な現状把握、分析及び将来予測を行うとともに、事業及び経営の目標を設定し、経営及び投資の合理化を図り、持続可能な事業運営を図れるよう「経営戦略」を策定します。

## 第2章 将来の事業環境

西目屋村の人口は、減少が続く見込みですが、平成27年10月に策定した「西目屋村人口ビジョン」では、西目屋村の豊かな自然環境や観光資源により、雇用環境を整備し、若者向けの住宅環境を整備する「定住促進住宅」の建設により、人口減少に歯止めをかけています。加えて、教育環境や子育て環境を整備することで、若者が定住し減少人口の回復を図ることとし、2040年の目標人口を988人と示しています。

下水道事業においても、より良い生活環境の提供を通じて、目標人口の実現に努めていきます。

## 第3章 経営の基本方針

西目屋村農業集落排水事業における計画期間は以下の通りとします。

**農業集落排水事業経営戦略：計画期間**  
2019年度(令和1年度)～2028年度(令和10年度)[10年間]

### 3.1 下水道事業の現状と課題

課題1	施設の老朽化	施設の老朽化が進行しています。
課題2	危機管理	危機管理体制の強化
課題3	水洗化率の向上	水洗化率の向上による経営の安定化
課題4	下水道料金	下水道料金の妥当性の確認

### 3.2 経営の基本方針

#### 施策1 農業集落排水施設の適正な維持管理

- ・処理施設の適正な運転と管理を実施します。
- ・下水道管の事故防止のため、計画的な調査と維持管理を実施します。
- ・自然災害等の緊急時対応のため、下水道危機管理体制を整備します。

#### 施策2 農業集落排水事業の経営の安定

- ・農業集落排水事業を持続的かつ安定的に経営していくため、収入・収支の両面から経営健全化に取り組んでいきます。

## 第4章 投資・財政計画（収支計画）

### 4.1 収支計画のうち投資について

西目屋村農業集落排水事業における施設整備は完了しています。

本経営戦略の計画期間（平成31～40年）における事業費は、約1.3億円です。

事業名	数量	本計画期間中の事業費(千円)
機能診断	2,000(千円)×5(地区)	10,000
最適化構想	1,000(千円)×5(地区)+諸経費3,000(千円)	8,000
管渠の清掃及び点検調査	清掃費500(千円)+点検調査費12,500(千円)	13,000
大白処理場の改築	下水道事業における費用効果分析マニュアルより	100,000
合計		131,000

### 4.2 収支計画のうち財源について

#### ◇下水道料金

西目屋村の下水道料金は、従量使用料制を採用しており、基本料金1戸につき1,000円(税抜)、超過料金10m<sup>3</sup>を超え1m<sup>3</sup>増す毎に100円(税抜)となっており、県内他都市と比較して低い料金設定となっています。

#### ◇財源

西目屋村農業集落排水事業の財源は、建設改良費に対しては国庫補助金や地方債を充当し、維持管理費や地方債償還金に対しては、水道使用料や一般会計繰入金等を充当しています。

## 第5章 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

西目屋村農業集落排水事業経営戦略の進捗管理として、毎年、決算確定後に投資・財政計画と実績の比較を行い、計画と乖離がないか検証を行います。

計画と大きな乖離が生じる場合は、その原因を分析し、経営戦略の見直しに反映させます。経営戦略の見直しは、3年から5年ごとに必要に応じて行います。